

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 ( 新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持 )

<b>1 事務事業の基本情報</b> <small>☞ 位置付けられている計画等で「その他の計画」が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。</small>																					
事務事業名	保育所運営管理経費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分		一般会計		款	3	項	2	目	3	事業	2	
担当部	保健福祉部		担当課	こども課		担当係	保育		係	作成者	古田 祐子		内線(電話番号)	1310		シート作成日	H30.10.24		部長決裁日	H30.10.24	
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称 : 子ども子育て支援事業計画)				根拠法令及び市条例等		<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 : ) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 : ) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称 : 常総市保育所設置条例)														

<b>2 事務事業の目的</b> <small>☞ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か?→ ②一方で、「現状や課題」はどうか?→ ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。</small>			
現状課題	保育を必要とする児童の保育を行うため、児童福祉法第35条第3項の規定に基づき、保育所を設置する。 課題としては施設の老朽化が進んでおり耐震診断を要している。	誰・何を対象に 家庭において必要な保育を受けることが困難である児童その他保育を必要とする児童 どのような方法・手順で 保育を必要とする児童を公立保育所において保育する。	望ましい状態 子どもの年齢や親の就労状況などに応じた多様な支援が必要ななか、保育の必要性の認定を受けた児童が必要量に見合った施設を利用できることが望ましい。

<b>3 事務事業の主たる成果指標</b> <small>☞ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。</small>														
指標名	待機児童数		単位	人		目標値	0		目標年次	平成 32 年度		指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	民間施設とともに、地域ニーズに合わせて保育事業を展開していくことによって、待機児童解消につながる。また、公立施設の再編計画により、北海道第六保育所の未満児童の増床、施設の統廃合及び民設民営化等をすすめることにより待機児童解消につないでいく。	

<b>4 事務事業の実績 ㊦</b> <small>☞ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。</small>																								
年度	平成27年度						平成28年度						平成29年度											
	業務名						業務名						業務名											
	活動量						活動量						活動量											
事務事業を構成する主な業務	① 修繕費	6施設					① 修繕費	6施設					① 修繕費	6施設										
	② 臨時雇賃金	6施設					② 臨時雇賃金	6施設					② 臨時雇賃金	6施設										
	③ 賄材料費	6施設					③ 賄材料費	6施設					③ 賄材料費	6施設										
	④ 消耗品費	6施設					④ 消耗品費	6施設					④ 消耗品費	6施設										
	⑤ 燃料費	6施設					⑤ 燃料費	6施設					⑤ 燃料費	6施設										
	⑥ 光熱水費	6施設					⑥ 光熱水費	6施設					⑥ 光熱水費	6施設										
	⑦						⑦						⑦											
	⑧						⑧						⑧											
	⑨						⑨						⑨											
	⑩						⑩						⑩											
	⑪						⑪						⑪											
	⑫						⑫						⑫											
目標値に対する実績値		16				人	目標値に対する実績値		17				人	目標値に対する実績値		4				人				
決算額	計	206,482,967	円	内訳	特定財源	108,460,250		円	計	180,582,496	円	内訳	特定財源	108,787,230		円	計	185,011,019	円	内訳	特定財源	102,398,990		円
					一般財源	98,022,717		円					一般財源	71,795,266		円					一般財源	82,612,029		円
					(住民一人あたりの行政コスト)	3,339		円					(住民一人あたりの行政コスト)	2,970		円					(住民一人あたりの行政コスト)	3,060		円

<b>5 担当者評価 ㊧</b> <small>☞ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。</small>		
成果	目標未達成 目標値に対する実績値(各年度10月県報告値)は平成29年度には目標値には近づいてきているが、民間施設と併せての成果であり、公立保育所のみ成果と考えた場合には厳しい成果となっている。	成果内容
問題点	クラス主任のできる正規職員の確保・それに伴う臨時保育士の確保が困難な状態であるため、受入児童数の制限などでできている状態である。また、老朽化している施設も多いため修繕する箇所も増加しており、毎年修繕に係る予算の確保が難しい。	

<b>6 担当部長及び担当課長評価 ㊨</b> <small>☞ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。</small>		
事務事業の方向性		
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
評価理由	平成30年度に3か所で耐震業務及び1ヶ所で増築設計業務を実施している。今後はそれらに伴う、耐震補強改修設計業務費や工事費の増加が見込まれるため、拡充とした。	

<b>7 実施計画 ㊩</b> <small>☞ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。</small>																								
年度	平成30年度						平成31年度						平成32年度											
事業内容	保護者が就労や疾病等の理由により、家庭で保育できない場合に、保護者に代わって乳幼児を保育する施設です。公立保育所としては市内6か所で実施しております。						保護者が就労や疾病等の理由により、家庭で保育できない場合に、保護者に代わって乳幼児を保育する施設です。公立保育所としては市内6か所で実施しております。						保護者が就労や疾病等の理由により、家庭で保育できない場合に、保護者に代わって乳幼児を保育する施設です。公立保育所としては市内6か所で実施しております。 (6施設で計上してありますが、北海道第五保育所は、平成32年度から民営化となる方向で協議を進めております。)											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●臨時雇賃金(6施設 保育士・調理員・用務員他)</li> <li>●賄材料費(6施設 給食材料費他)</li> <li>●消耗品費(6施設)</li> <li>●燃料費(6施設)</li> <li>●光熱水費(6施設)</li> <li>●修繕費(6施設)</li> <li>●実施設計等委託料 4,000,000円×2施設=8,000,000円(第一・第四)</li> <li>●第六保育所増築工事費 32,616,000円</li> <li>●第六保育所工事監理業務委託料 1,512,000円</li> <li>●第二保育所耐震診断業務委託料 3,835,000円</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>●臨時雇賃金(6施設 保育士・調理員・用務員他)</li> <li>●賄材料費(6施設 給食材料費他)</li> <li>●消耗品費(6施設)</li> <li>●燃料費(6施設)</li> <li>●光熱水費(6施設)</li> <li>●修繕費(6施設)</li> <li>●大規模改修工事 第一：779×150,000=117,000,000円 第四：630×150,000=94,500,000円</li> <li>●仮設園舎設置費用 30,000,000円×2施設=60,000,000(第一・第四)</li> <li>●工事監理業務委託料 3,000,000円×2施設=6,000,000(第一・第四)</li> <li>●仮設園舎設置費用 30,000,000円×2施設=60,000,000(第一・第四)</li> </ul>																	
	歳出	計		189,205		千円		歳出	計		205,346		千円		歳出	計		436,883		千円				
予算額	特定財源		114,566		千円		特定財源		67,118		千円		特定財源		67,118		千円							
	歳入		一般財源		74,639		千円		歳入		一般財源		138,228		千円		歳入		一般財源		369,765		千円	
	計		189,205		千円		計		205,346		千円		計		436,883		千円							

<b>8 財務アドバイザーの見解</b>		
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成29年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。		

<b>9 行政改革懇談会(市民)の意見</b>		
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。ただし、保育士が確保できないため児童の受け入れに制限がある、という課題は、早急に解決すべきである。		

<b>10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪</b>		
事務事業の方向性		
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
評価理由	少子化が進行する中で、定員割れがでている現在の公立保育所の在り方を見直すと同時に待機児童の解消に向けた施設増築を含めた施策を展開し、子育てニーズに合わせた保育支援を行う必要があると考えられる。	

<b>11 事務事業の改善理由 ㊫</b> <small>☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。</small>		
事業内容	公立保育所再編計画を行うなかで、既存の施設を維持するためには大規模改修工事が必要である。また、廃止すべき施設や民設民営化を進めていくことは、児童数減少の将来を見据えたうえで有効と考えます。今後も施設再編の取り組みを推進します。	